**7月15日　NPO法人　マドレボニータ　代表　吉岡　マコ　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

　企業と経営についての事以外にも、日本の現状を知ることが出来て、とてもためになる講演で、話をしてくださってとても感謝しています。経営者になる過程についてですが、他の経営者さんの話でもよく聞きましたが、“社会のシステムに対する欠陥”に疑問を持って、その細かなところに目を向けて、“改善に向けて”と、“その欠陥によるデメリットを減らす”ための活動を始めた。ということが、やはり新しいことをするには必要なのだなと改めて感じさせられました。最後の話にもありましたが、会社の内部の成長（養成）を利益を熱烈に求めるのではなく、活動を広めることに特化することが、結果的に会社自体を世に広め、社員の成長につながるという、矛盾していそうな行動の結果も見据えるのが大切だと知ることが出来たのがとてもよかったです。ありがとうございました。(教育人間科学部・人間文化課程１年)

　自分の大変な経験をもとに、それを解決するために事業を起こすというのは実体験をもとにしているという点で強みなのかなと思いました。私の母は祖母が近くに住んでいたため産後のサポートを受けられたようですが、そういう人ばかりではないので、友人など周りの人が助けてくれるような仕組みはとても大切だと感じました。マドレボニータの事務局の方のように在宅勤務という働き方がもっと広まれば、働くことをあきらめてしまう女性を減らせるのではないかと思いました。（教育人間科学部人間文化学科　1年）

本日はご講演ありがとうございます。私も今日まで産後がそんなにつらいものであるということは知りませんでした。そして、その経験は自分が経験するまでわからないといことも驚きでした。今日こういう大事なことについて知ることが出来てよかったと思います。私もスーパーなどで小さい子を連れて大変そうな母さんを見て、自分の母に“私が小さい頃大変だった？”と聞いたとき、母はそれに対して“嫌になることなんてあったよ”と答えて子供として複雑になりました。でも、今日のお話をきいてそう答える気持ちも分かった気がします。また収益が低い中でやっていくために、お客さんをお客さんで終わらせないという独特な方法を用いていることに感激しました。私も出産したらぜひこの事業を受けてみたいと思います。これからも頑張って事業を行って女性を助けてください。応援しています。(教育人間科学部人文１年)

　私はもちろんまだ出産を体験したことがないので、今回のお話はすごく衝撃的なものでした。出産が痛くて大変だとかいうことは、母から聞いたりして、知っていましたが産後の問題については本当に何も知らなかったなと思いました。特に産後クライシス、離婚率の増大などは何も知らない人間からしたら、産後って1番家族が幸せな時なのに何で？って思ってしまうけれども、産後の適切なサポートがないとこうなってしまうのも当然だと、今日のお話を聞いた後には思いました。今までは、幼児虐待というのはどうしておこるのだろう、母親は何しているんだろうと思っていたけれど、こうした背景を知ると、周りがもっと何かできたのではないかと思うようになりました。吉岡さんのお話を聞いていてすごいなと思ったのは、最初この事業を始めたときに比べたら、今はすごく上手くいっている成功していると思うのですが、現状を逐一見直して、どんどんプログラム、サービスをよくしていこうと新たなチャレンジしていくのが本当にすごいと思いました。また、学生時代からの活動や勉強が今の仕事に活きているというのはすごいことだと思いました。今日の話を聞いていて、無知というのはすごく恐いなと思いました。出産について特に産後について、今日たくさんの知識を得られたのはとても貴重な経験でした。　　　　　（経済学部　国際経済学科　1年）

　出産に対する印象が大きく変わりました。イメージと現実がこんなにもかけ離れたものだとは思いませんでした。企業の育休に対する考え方も変わってきているので、産後は育児→社会復帰が容易なものだと思っていたけれど、それ以前に母親の心身のケア体制が整っていないことに驚きました。一人の女性として、このような実態を知る機会を得ることができてよかったです。NPOの経営というのは利益を追求するだけではないので、資金調達が難しそうでしたが、数多くのステークホルダーの利害を調節しながら社会に有益な活動をしていくという企業とはまた違う活動に興味を持ちました。(経営絵・国際経営　1年)

　出産期に比べて、子供が生まれた後は、妻から夫への愛情が減ることにすごく驚きました。夫から妻への愛情が減るのだと思っていたけど、逆でした。出産後の方が体に負担がかかることも初めて知り、驚きました。このような知識をもっと広めていくことが必要だと思います。出産において母親にかかる負担を理解することで、児童虐待が減るはずです。私は出産を経験したことがないので、そのつらさは分からないけど、今日話を聞いて、相当辛いものなのだと感じました。だからこそ、パートナーがその知識を持っているととてもいいですね。(教育人間科・人間文化課程　1年)

私は、昔マザーテレサについて学んだ時、恵まれない人に対して愛情を注いでいるため心から美しい人であると思いましたが、今日の講演を聞いて出産後の母親に対して愛情を注いでいる吉岡さんはまさに「マドレボニータ」であると思いました。私の中の印象では赤ちゃんが生まれた後は家族みんなが幸せになるものであると思っていましたが、実は生んだ母親が苦しんでいるということを知ってもっと助けてあげなくてはならないと思いました。そんな、なかなかスポットの当たらない所に目を向けて、母親達にサポートを与えている吉岡さんはすばらしいと思います。吉岡さんの言葉の中で、とても印象的に残っている言葉は、美しい母親が増えれば、世界がもっと良くなる、ということです。今まで、母親が幼児に対して暴力をふるうという事件を見てきて、どうしてこんな事件が起こるのであろうかと思ってきましたが、この産後クライシスという言葉に見られるように産後の不安定な精神状態だからこそ起こってしまう、というメカニズムが分かりました。これから、より美しい母親が増えるように、活動を頑張ってください！！（経営学部 経営学科 １年）

今までこの授業でお話をしてくださる方は男性の方ばかりだったので、今回吉岡さんに女性ならではの視点から始めた事業について話していただくことができてとてもためになりました。

産後の問題については今まで考えたことがありませんでした。私は女なのですが、産後のことなんて何も知らなかったので正直いやだなと思いました。でも、そういう重要なことをこの歳になるまで知らなかったのをとても驚いています。知らなかった自分も恥ずかしいですが、教えてくれなかった周りもちょっとひどいなと感じてしまいました。みんながこのような知識を共有できるような社会になることを願います。（理工学部　建築都市・環境系EP　２年）

自宅勤務という形態は被雇用者から見ればとても都合のいいものだし、現代はネット環境が整っているので、どこにいても仕事ができる子の形態はいいと思う。できる範囲で積極的に採用するべきだと思った。（経営・経営システム科　1年）

本日はお忙しい中講演して頂き、有り難うございました。今回の講演は予想していなかったことを多く知ることが出来、非常に有意義な時間を過ごすことが出来ました。出産後は毎日赤ちゃんと触れ合うことが出来、日々幸せなのだろうと思っていたけれど、今回の講演を聞いて非常に辛いものだと知り、驚愕しました。しかし、それと同時に、私の母親は私がお腹にいる時も長距離出勤をし、出産後もすぐに仕事復帰したことへの凄さを身に染みて感じました。また母親は児童相談所に勤めていて、よく虐待について聞いていたので、私も現在の社会制度に疑問を抱いており、マドレボニータは素晴らしい社会事業だと思います。また、経営方式もお客さんが後々サポートしてくれるなど今まで授業で聞いてきた方式とは異なり、ためになりました。（経営/会計・情報1年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

将来、自分が父親になったときに、パートナーを心の綿面からも家事など、外的サポートも両方の面から、産後ケアに積極的にアプローチしたいと思いました。子育ての時期はパートナー間の中に不安が生じたり、仕事を優先してしまう不慣れな問題が生じると思うけど、パートナーが社会復帰するにしろ、専業主婦になるにしろ、最後までケアに従事しようと思いました。また、出産に伴う知識に着いて興味を持ち、いざという時に焦る事なく落ち着いて処理できるように勉強していきたいです。（理工　数物・電子情報系　３年）

　自分の固定概念では、女性は母親になるとだいたい育児に専念すると思っていたが、育児しながらも企業を成長させるという道もあるんだなと思い、まだまだ自分の可能性は広いなと思った。なので、自らの可能性を狭めることなく、未来を考えていきたいと思った。(経済・国際経済　1年)

　　産後ケアを社会が負担してくれないから手作りの公を作ろうと言って産後ケアバトン制度を作ったように、無いならば自分で作ろうという態度を学びました。（経営学部経営学科　1年）

　吉岡さんのように自分自身が経験し、変えたいと思っていることが私にもあります。私はクラシック音楽をもっと世界の人に好きになってほしいし、もっと堅苦しいとか高いとかいうイメージを変えていきたいです。そのために、自分がアートマネジメントに関わっていきたいと思っています。吉岡さんのように自分自身が変えたいと思えることに関わり、変えることがえきるようになりたいな、と思いました。そして、そのことが社会の人にとって有益になればいいなと思いました。(教育人間科学部・人間文化課程１年)

　今まで講演してくださった方々は“なぜ起業したのか”をまず話していらっしゃったが、吉岡さんはその話を最後にしていらっしゃった。他の方々の話も吉岡さんの話も飽きの来ない講演の展開であったと感じた。内容からは少しはずれているが、今まで様々な経営者の方々の話を聞いて、話を伝える構造も多く学ぶことができた。話術というのは使ってはじめて効力を持つと思う。だから、今までの話し方の工夫を生活や講義に生かしていこうと思う。(教育人間科学部・人間文化課程1年)

授業スタッフの感想１

　今回、初めて女性の経営者の方にいらしていただいて、女性の起業について詳しく理解することができ、非常にためになる講義でした。女性の方が柔軟に起業出来ると聞いてとき、は自分の中で勇気にもなりました。また、今度お話を伺いたいなと思いました。

授業スタッフの感想２

今回は妊娠や出産の話だったのでとてもためになった。聞きづらい話ではあるがこういった形で勉強ができることはありがたいと思う。